

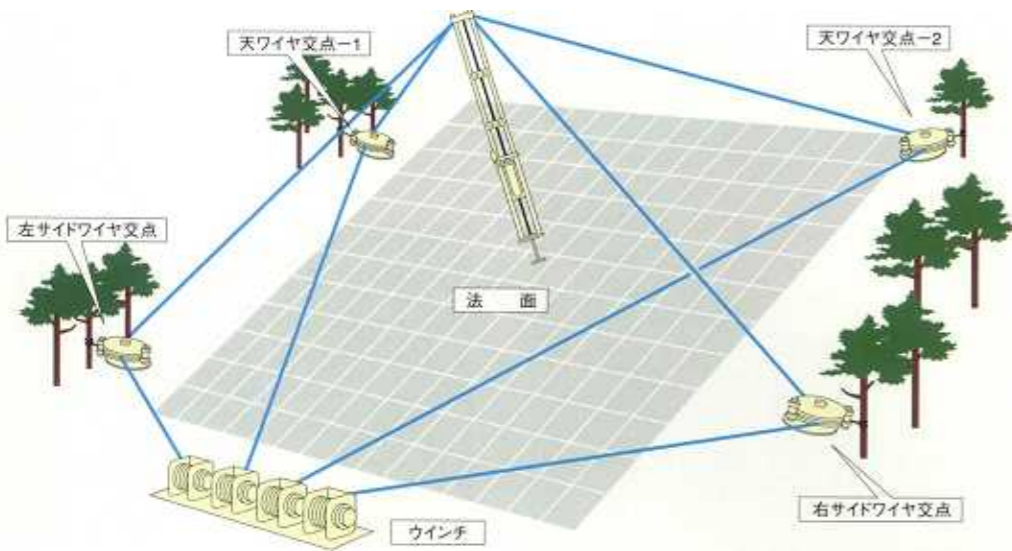


熱心にSD工法について聞き入る参加者

六月三十日の安全大会の午後、豊岡本社会議室で全社員を対象にSD（スタンドドライブ）工法の研修会を工法の考案者である野並氏を迎え実施しました。
SD工法はワイヤーロープ装置により小型削孔機を移動させる工法、従来の足場や取付道路等の仮設工事を必要としない新しい工法で、当社も協会会員となり

SD工法 社内研修会を実施

SD工法標準機器設置例



上記設置例はほんの一例です。現場により掘付方法や配置場所等が異なる場合がございますので、実際の設置には専門家の方とご相談の上、正しい方法・手順で行ってください。

研修会を開くことになりました。研修ではスライドを利用し、工法の特徴と優位性について、講演が行われました。
特に、従来工法と比べて工期を大幅に短縮でき、総工事費や予算

お庭のことなら彼に是非ご相談ください。
お庭のことなら彼に是非ご相談ください。



昭和五十四年二月
兵庫県姫路市生まれ
豊岡本社
所属
営業班長

今号の顔 井原央人

を低減することができるとともに、主体工事へも素早く着工できるので、長期工事による周辺住民への精神的負担や環境への影響も軽減できることが話され、今後の工法普及に自信が持てた研修会となりました。

社報 地球と友達

株式会社 西村風見園

本店 〒670-0934 兵庫県姫路市朝日町 65 番地
本社 〒668-0051 兵庫県豊岡市九日市上町 846-1
神戸営業所 〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通 5 丁目 5-18 (兵庫県林業会館内)
福知山営業所 〒620-0000 京都府福知山市字上天津 1118-2
ANNEX はなかんざし 〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町 11 番 5 号
ホームページアドレス <http://www.fuukouen.com> メールアドレス seifuu@skyblue.ocn.ne.jp

No.6

平成十九年度 安全大会開催

全国安全週間の前日となる六月三十日、豊岡市民会館にて今年で十九回目になる株式会社西村風見園の安全大会が、衆議院議員谷公一先生秘書今井氏を来賓に迎え、社員及び協力会社社員九十余名が出席し開催されました。
当日は、大会開催前に神道神導教で、社員と協力会社代表が安全祈願した後、豊岡市民会館に集まり、協力会社安全表彰や安全標語の入選者表彰、各部門の安全活動報告、平成十八年度安全活動の反省と平成十九年度の安全対策等について発表があり、出席者全員が初めに帰り、ヘルメットの完全着用・安全帯保護具の完全着用・交通安全ルール厳守を頭に置いて、新たな気持ちで安全第一・ゼロ災害の事業実行を心に誓いました。

協力会社安全表彰

尾崎 造園

安全標語入選作品

特選

危険箇所気づいたあなたが責任者

今すぐ改善 0 災害

総務部門 岸田 太



救急法を体験する参加者

入選

安全は任せず 頼らず 過信せず

自分で確認 無災害

今日も一日安全に

工事部門 今井 宏典

手順確認 再確認 危険予知して

0 災害達成

工事部門 今津 大介

「だろっ」より「もしも」の気持ちでハンドル握れ

危険予知して 安全運転

総務部門 土野 鏡子



武庫川流域の採取箇所 6月7日

前号で紹介いたしました当社が目指す多自然工法による植生復元、特に地域種にこだわる植生の手始めとして、「人の生活と結びついた場所に広く分布し」「多くの動植物と共存共生する」「風土になじんだ草地の景観を創る」「地下茎を発達させ、表土を保つ



円山川流域での6月11日の採取状況

力が強い」などの特徴があるチガヤの種子を、流域ごとに採取することとしました。採取は五月下旬から六月中旬の綿毛が飛ぶ瞬間を目指し、営業部門が円山川、揖保川、市川、加古川、武庫川、明石川、由良川の各流域で営業をしながら適期を

兵庫県・京都府北部でチガヤの種子採取

ボランティアで展示用人工巣台を補修

半世紀ぶりに自然界でコウノトリのヒナが巣立ちを迎えようとしている豊岡市で、昨春秋に続いて三回目となるコウノトリ文化館、巣台模型の補修を工事部門を中心に六月三十日に実施しました。巣台模型は搭乗できる作りで、格好の写真スポットとなっております。

り、ヒナの話題が大きくなるにつれて、来館者も増加し、巣台の破損も著しくなっていました。そこでコウノトリ文化館から例年手がけている当社にお話しがあり、ボランティアの実施となりました。当日は剪定くずとして発生する

お礼
株式会社 西村風晃園 様
このたびはコウノトリ文化館の展示用人工巣台の補修整備を行っていただきまして、誠にありがとうございました。貴社のご好意に対し、厚くお礼申し上げます。この巣台は、人があがって巣の中で体感できるものであり、来館者の方々に大変喜ばれていますが、貴社のご尽力により、一層利用されるものと存じます。貴社のますますのご発展を祈念申しあげ、お礼とさせていただきます。



平成19年6月30日

豊岡市立コウノトリ文化館
館長 松島 興治郎

枝をため、軽トラ一台分の枝で補修しました。作業は経験者が多く一時間ほどで終了しました。今後も当社ではコウノトリの野生復帰事業に貢献したいと考

アネックス花かんざし「トライやる・ウィーク」で今年も南中生を受入

アネックス花かんざしでは、毎年地域に学ぶ中学生・体験活動週間「トライやる・ウィーク」の趣旨を理解し、生徒の体験の場を提供しています。今年も五月二十八日から五日間、豊岡南中学校の二人の生徒を受入れました。

今回体験していただいた作業は、あいさつ、花の世話、接客、寄植作りで、特に毎日の練習で「いらつしやいませ」「ありがとうございました」のあいさつが明るくできるようになったこと、花を好きになれたことが五日間の成果であったと感じました。



花を好きになってくれた南中生

来年も明るい生徒さんがこれ、花を好きになっていただきたいと期待しています。

えています。なお、作業終了後、豊岡市立コウノトリ文化館からお礼状（上記）をいただきました。

参禅研修 新規採用者が参加

選り採取し、種子は乾燥のため陰干しして保管しました。今後、採取した種子をパート

ナーのエスペックミック（株）と共同で研究・生産する、取り組みを強化して行きます。

当社では毎年、新規採用者と幹部社員代表が参加し、豊岡市の長松寺に依頼、永平寺の参禅研修とほぼ同じカリキュラムで参禅研修を実施しています。

本年も例年にならぬ新規採用者3人と西村取締役が六月四日から六月十日の七日間参加しました。研修は早朝の座禅、お経、説経、奉仕作業を毎日するカリキュラムで実施され、食事は精進料理で普段の社会生活では味わえないものです。

研修後、参加者からは「いい経験をしました、肉が食べられない一週間はつらかったですが、この経験をいかして礼儀正しく立派な社会人に、そして社会に貢献す



座禅にトライする研修生

る人材になります。」との感想が寄せられました。

当社は、今後も社員教育に力を入れて行きたいと考えています。